

Lesson13

be 動詞/生きるべきか死ぬべきかそれが問題だ

To be or not to be, that is the question.

基本的な動詞ですが、**be 動詞**はいろいろな使い方をするのでしっかりと理解しておきましょう。**be 動詞**は**格変化**をします。つまり、主語の格や時制によって形が変化するのです。そのため変化形を覚えておくことが大切です。**To be or not to be, that is the question.**「生きるべきか死ぬべきかそれが問題だ。」では **be 動詞**の**原形**(be)と**3 人称単数現在形**(is)が使われています。基本的な動詞だけに多くの使い方があるので、**be 動詞**は要注意です。

このレッスンを受講することで **be 動詞**について理解できます。

Topics

be 動詞/ To be or not to be, that is the question.

Topic1 be 動詞の格変化

- 現在形の人称変化
- 過去形の人称変化

Topic2 be 動詞の原形(be)/過去分詞(been)/ing 形(being)

- be 動詞の原形 : be
- be 動詞の過去分詞 : been
- be 動詞の ing 形 : being

Topic3 be 動詞の用法

- SV 型
- SVC 型
- 進行形
- 受身形

Wrap-up

DVD 版では練習問題の解説も行います。



To be or not to be, that is the question.

Topic1

be 動詞の格変化

be 動詞は格や時制により変化します。これらの変化形を覚えておくことはとても大切です。

●現在形の人称変化

be 動詞の現在形の人称変化について紹介します。

人称	be 動詞の変化形
1 人称単数	I am
〃 複数	We are
2 人称単数/複数	You are
3 人称単数	He/She/It is
〃 複数	They are

肯定文 : He is a plumber. 「彼は配管工です。」

疑問文 : Is he a plumber? 「彼は配管工ですか？」

主語と動詞の順番を入れ替えることで疑問文を作ります。

否定文 : He is not a plumber. 「彼は配管工ではありません。」

be 動詞の後ろに not を付け否定文にします。

注意: is not/are not には isn't/aren't という短縮形があります。例: He isn't a plumber. / You aren't a plumber. でも、am not には amn't という短縮形はありません。その代わりに、I'm not a plumber. という短縮形が使われます。

●過去形の人称変化

be 動詞の過去形の人称変化について紹介します。

人称	be 動詞の変化形
1 人称単数	I was
〃 複数	We were
2 人称単数/複数	You were
3 人称単数	He/She/It was
〃 複数	They were

肯定文 : You were impressed by her speech. 「あなたは彼女のスピーチに感銘を受けました。」

疑問文 : Were you impressed by her speech?

「あなたは彼女のスピーチに感銘を受けましたか？」

主語と動詞の順番を入れ替え疑問文にします。

否定文 : **You were not impressed by her speech.**

「あなたは彼女のスピーチに感銘を受けませんでした。」

be 動詞のうしろに **not** をつけ否定文にします。

注意 : **was not/were not** には **wasn't/weren't** という**短縮形**があります。

例 : **I wasn't impressed by her speech. / You weren't impressed by her speech.**

□ Topic2

be 動詞の原形(be)/過去分詞(been)/ing 形(being)

be 動詞にも他の動詞と同様、**原形**、**過去分詞**、**ing 形**があります。これらの使い方について説明します。

● be 動詞の原形 : be

不定詞や**助動詞**に付ける際は **be 動詞の原形**が使われます。

助動詞につける : **I will be there by noon.** 「私は昼までにはそこにいます。」

不定詞につける : **I want to be a singer.** 「私は歌手になりたいです。」

● be 動詞の過去分詞 : been

be 動詞の**過去分詞**は**完了形**を作る際に使われます。

現在完了形 : **I have been to Seattle before.** 「私は以前シアトルに行ったことがあります。」

現在完了形 : **The issue has been discussed.** 「その話題については議論されました。」

注意 : **been** は**完了形の受身形**を作る際にも使われます。

● be 動詞の ing 形 : being :

be 動詞の **ing 形**は**進行形の受身形**や**動名詞**として使います。

現在進行形の受身形 : **The topic is now being discussed.**

「その話題は今議論されているところです。」

動名詞 : **I am sorry for being late.** 「遅れてすみません。」

Topic3

be 動詞の用法

be 動詞は **SV 型** と **SVC 型** による使い方があります。進行形は **be 動詞 + ing 形** で作ります。受身形を作る際は **be 動詞 + 過去分詞** という構成を使います。

●SV 型

ある場所や状況にいるということを表すときに **be 動詞 + 場所情報** (場所を意味する副詞句) という **SV 型** になります。

I was here before. 「以前、私はここに来たことがあります。」

We are in Tokyo. 「私達は東京にいます。」

●SVC 型

S=C という関係が成り立つときに **SVC 型** になります。

He is a pediatrician. 「彼は小児科医です。」

She was dissatisfied with the plan. 「彼女はその計画に不満でした。」

●進行形

be 動詞 + ing 形 で **進行形** となります。

We are studying English. 「私達は英語を勉強しています。」

I was talking with my supervisor when Dr. Song visited our office.
「ソン博士が私達の事務所を訪ねてきた時、私は私の上司と話していました。」

●受身形

be 動詞 + 過去分詞 で **受身形** となります

Your order was shipped out yesterday. 「あなたの注文は昨日出荷されました。」

All the articles in this magazine are written in both English and Japanese.
「この雑誌上の全ての記事は英語と日本語の両方で書かれています。」

The results will soon be announced. 「結果はすぐに発表されるでしょう。」

スコアアップ!

(DVD 版のみ収録)



例題 : Ms. Sanders _____ in the room a while ago.

- a. is
- b. was
- c. were
- d. be

a while ago 「少し前」と過去を示している語句がカギとなり **b. was** (1 人称単数・3 人称単数、過去形) が答えとなります。**Ms. Sanders** 「サンダースさん」は単数なので **c. were** (1 人称複数・2 人称単数・3 人称複数、過去形) は答えにはなりません。**a. is** (3 人称単数、現在形) は現在のことなら答えになりますが、**a while ago** があるため選べません。また、**d. be** (原形) だけでは述語動詞になることはできませんので答えになりません。

Ms. Sanders was in the room a while ago.

「サンダースさんは少し前までその部屋にいました。」

Sold As Is.

安い中古車屋さんに行くと “**Sold As Is**” という文字が車に張ってあるのを良く見かけます。**as is** は **as it is** と書かれることもあるようですが「そのまま」の意味です。そのため、**Sold as is.** は「そのまま売られる、そのままの状態で売られている」などの意味になります。このフレーズで言わんとしているポイントは「保証はしません。」ということです。ですから、**Sold as is.** と書かれている商品はよく吟味して買う必要があります。似た表現に **Take me as I am.** というフレーズがあります。これは直訳すると「そのままの私を私と思って」のような意味になります。似た表現ですが、こちらのほうは素直に聞こえるのが不思議ですね。

コーヒーブレーク (DVD 版のみ収録)

Wrap-up

- be 動詞の格変化を確認
- be 動詞の原形、過去分詞、ing 形の使い方を確認
- be 動詞は進行形や受身形などを作るのに使う



To be or not to be, that is the question.
「生きるべきか死ぬべきかそれが問題だ。」

不定詞の to + be 動詞 (原形)
to be (存在するべきこと)

not + 不定詞の to + be 動詞(原形)
not to be (存在すべきでないこと)

be 動詞 (三人称単数現在形)
is (~です。)

追加情報	
不定詞 + be 動詞	接続詞
副詞 + 不定詞 + be 動詞	
to be or not to be	
(存在するべきこと または 存在すべきでないこと)	

主語
代名詞
that
(それ)

述語動詞
be 動詞
is
(~です)

目的語
冠詞 + 名詞
the question
(その問題)

Practice

先生の解説を聞き、下記の練習問題を解いてみましょう。(DVD版のみ収録)

1. The policeman _____ very nice to us.
a. was
b. were
c. are
d. am
2. Sarah said she wanted to _____ an accountant.
a. be
b. was
c. being
d. is
3. I am sorry for _____ late again.
a. to be
b. been
c. being
d. was

Homework

このレッスンに関連した下記の練習問題に挑戦してみましょう。

1. Travelers _____ instructed to wait for the weather to improve.
a. be
b. was
c. were
d. being
2. Your order is now _____ processed.
a. be
b. been
c. being
d. has been
3. We don't want to _____ forced to sign the contract.
a. are
b. is
c. was
d. be

Explanation - Practice

1. **The policeman was very nice to us.** 「その警察官は私達にとっても親切でした。」

解説 : **a. was** 「～でした」(1人称単数と3人称単数の過去形) が答えです。**be 動詞の人称変化**について問う問題です。**the policeman** は3人称単数なので選択肢の中では **was** 以外に付けられるものはありません。

the policeman は3人称単数なので、**b. were** 「～でした」(2人称単数・複数、1人称複数、3人称複数の過去形)、**c. are** 「～です」(2人称単数・複数、1人称複数、3人称複数の現在形)、**d. am** 「～です」(1人称単数の現在形) は入れることができません。

2. **Sarah said she wanted to be an accountant.** 「サラは会計士になりたいと言いました。」

解説 : **a. be** (原形) が答えです。不定詞の **to** に付けられるのは原形の **be** だけです。このレッスンで学習したように、不定詞や助動詞に **be** 動詞を付ける場合は、原形を用います。

b. was 「～でした」(1人称単数、3人称単数の過去形)、**c. being** (ing形)、**d. is** 「～です」(3人称単数、現在形) は **to** につけることはできません。

3. **I am sorry for being late again.** 「また遅刻してしまいすみません。」

解説 : **c. being** (ing形 : 動名詞) が答えです。空欄の前に前置詞の **for** があることに注目します。**前置詞** は**名詞**や**名詞**に相当する語(句)の前におきます(レッスン16参照)。そのため、空欄には名詞に相当する語(句)を入れる必要があるため、動名詞の **being** が答えになります。

a. to be (不定詞の **to**+原形)、**b. been** (過去分詞)、**d. was** 「～でした」(1人称単数、3人称単数の過去形) は **for** (前置詞) につなげることはできません。

Explanation - Homework

1. **Travelers were instructed to wait for the weather to improve.**

「旅行者は天候が改善するのを待つように指示されていました。」

解説 : **c. were** 「～でした」(1人称複数、2人称単数・複数、3人称複数の過去形) が答えです。**travelers** は3人称の複数にあたります。ここでは **were** が文の述語動詞になっています。**instructed**(形容詞) は「指示された」という意味です。**be instructed to** ~で「～するように指示される」という意味があります。

a. be (原形) と **d. being** (ing形) は述語動詞になることはできません。**b. was** 「～でした」(1人称単数、3人称単数の過去形) は主語が複数なのでダメです。

2. **Your order is now being processed.** 「あなたの注文はただいま処理されているところです。」

解説 : **c. being** (ing形) が正解です。ここでは、まさに、**今、処理されている**ということを示すために、進行形の受身形 (**be** 動詞 + **being** + 過去分詞) を用います。

a. be (原形) は、不定詞や助動詞に **be** 動詞を付ける場合に、原形のまま用いるものです。そのため、

この文では適切ではありません。なお、この文には **is** があることから、**processed** は、過去形ではなく過去分詞であると判断するのが妥当です。そうすると、**b. been**（過去分詞）を入れると過去分詞が重複してしまいますので不適切です。**d. has been**（現在完了形）は **be** 動詞につなげることはできません。

3. We don't want to be forced to sign the contract.

「私達はその契約を締結することを強要されたくありません。」

解説 : **d. be**（原形）が答えです。不定詞の **to** に付けるので原形を選びます。また、後ろの **forced**（過去分詞）とつながり不定詞の **to** の後に受身形を構成しています。

a. are 「～です」（1人称複数、2人称単数・複数、3人称複数の現在形）、**b. is** 「～です」（3人称単数の現在形）、**c. was** 「～でした」（1人称単数、3人称単数の過去形）は不定詞の **to** に付けることはできません。